



かされたのか!?

国際交流と、縁（ゆかり）のある都市との交流の推進

【担当：商工観光課】

内 容	回 答
◇町内の外国人とお互いの理解を深めるため、さらなる国際交流の機会をつくること。	◇町内には179人が居住（令和7年3月末現在）。日本語教室や「小さな旅」「交流芋煮会」なども行った。今後は交流の輪を広げ企業や国際交流協会と一緒に取り組んでいく。
◇本町とゆかりのある都市と特色ある連携や交流を深めること。	◇気仙沼市と小学生スポーツ交流、桶川市とは紅花、長岡市や海老名市、三鷹市とは物産振興など交流・関係人口の拡大を図る。

提言3 魅力と活気にあふれる「しごと」づくり

白鷹町ならではの観光事業の振興と充実

【担当：商工観光課】

内 容	回 答
◇町の資源を活かした観光事業によって地域全体の活性化や賑わいを図ること。	◇町内観光資源を有効活用する目的で「体験、歴史文化に触れる、学ぶ、スポーツ、健康」に重点をおいた観光コンテンツを生み出すことにより滞在型観光を作り上げていく。
◇紅花を身近に感じてもらえるよう家庭や企業に種を配る「紅花いっぱい運動」を行うこと。	◇十王地区と中山地区に紅花の種を配っている。児童生徒にも紅花摘みを体験してもらうなど、多くの方々が紅花に触れる機会を作っていく。
◇紅花栽培の課題を分析し生産振興や人材確保の対策を早急に行なうこと。	◇課題は新規生産者の確保であり、連作障害への対応、生産が広がるような支援の拡充も行っていく。



持続可能な農業・農村に向けた支援

【担当：農政課】

内 容	回 答
◇農業者育成支援や担い手・後継者の確保などの対策を早急に。	◇首都圏などでの相談会へ出展するとともに農業に触れ合う機会を作っていく。
◇現在の農業事情をつかみ農業全般にわたる中長期的な支援策を。	◇生産費高騰など環境は厳しいが米価高や生産目安の増加は生産者の意欲向上につながった。動向を注視しながら支援を行う。
◇地域計画に沿い、実態に即した持続可能な農業・農村の推進を。	◇地域計画により農地の将来像が見えてきた。農地を維持していく仕組みづくりなど効果的な維持管理に向けた話し合いを続ける。

